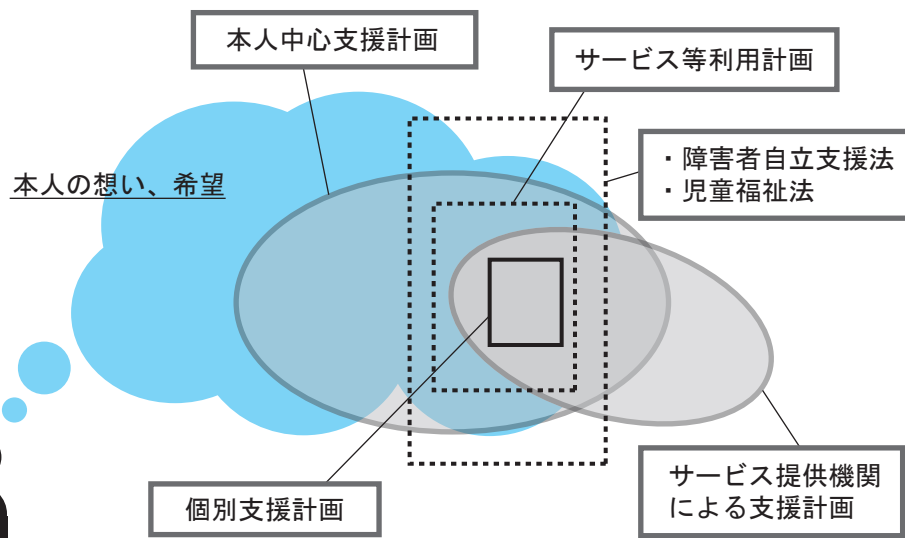




そもそも個別計画支援とは？

(執筆担当：相談室ばば 大久保薫氏)



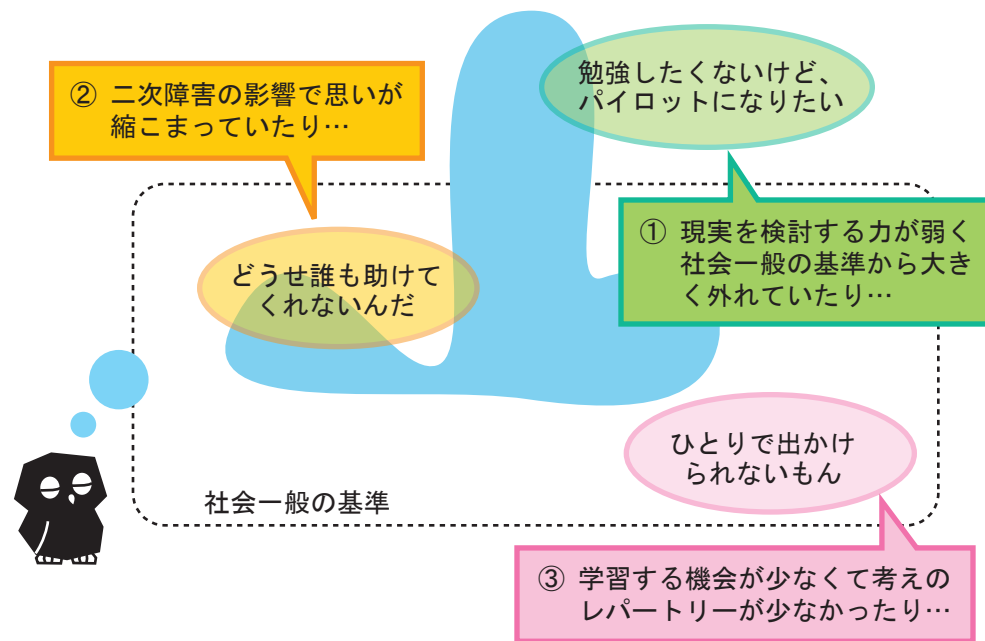
- 『本人中心支援計画』：本人の思いや希望、ニーズ（自覚しているもの、まだ自覚していないもの）を中心においたプラン。近所の人やコンビニも障害者自立支援法をはじめ様々な制度も、活用できるものなら何でも利用しながら作る
- 『サービス等利用計画』：障害者自立支援法に定められたプランで障害福祉サービスを利用する人のためのもの
- 『個別支援計画』：『サービス等利用計画』の中で事業所が請け負う部分のプラン

個別支援計画のポイント

- ① 不等号の向きが大切：『本人の思い、希望』 > 『本人中心支援計画』 > 制度が求める『サービス等利用計画』 > 『サービス提供機関による支援計画』 > 制度が求める『個別支援計画』
- ② 「支援計画」＝「役割分担計画」：事業所の役割も大切ですが、『本人の役割』も忘れずに！
- ③ プランの役割と限界を知る：本人のニーズの全部はカバーできないし、ニーズからはみ出したプランを提案することもあります



では、発達障がいがある方のニーズとは？



ニーズを捉える3つのヒント

本人が伝えてくる「表面的なニーズ」は、一見すると唐突であったり、ゆがんで表現されていたりする場合があります。そんな時、支援者はニーズに対して理解しにくい印象を持つことがあります。彼らの「潜在的なニーズ」を理解するには、次の3つの視点がヒントになります。

- 現実を検討する力はどのくらいあるのかな？
- 二次障害の影響はないかな？
- 学習する機会はあったのかな？

本人の支援の難しさは、このような、ニーズの表現の独特さから始まっているようです。